



特集

発達障害

本当に求められる支援とは



発達障害者支援法が施行されて以来、「発達障害」を取り巻く環境は、劇的に変化しました。いま各地で、新たな制度の構築に向けた取り組みが急ピッチで進められています。

発達障害を抱える子ども・家族をしっかりとサポートするには、保健・医療・療育・教育など多くの機関の連携が必須となり、さらに、各機関の支援が、当事者それぞれの状況に合わせてコーディネートされなければなりません。まさに「保健師のワザ」が求められているともいえそうです。

そこで本特集では、「本人・家族に寄り添った支援とは何か」に立ち返りつつ、発達障害を抱えてもいきいきと暮らせるまちにするための保健師の役割について、考えていきたいと思います。

